

令和3年度 学校関係者評価委員会 議事録 (1回目)

実施日：令和3年6月15日(火) 10:00~12:00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティール専門学校 6階 C 教室

出席者：委員 池山英一 (アリアーレビューティール専門学校 校長)
土橋翔太 (第一学院高等学校 教諭)
石黒知樹 (全国理容生活衛生同業組合 中央講師・保護者)
藤原さやか (平成28年度卒業生)
中川信子 (名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 校長)
川野公稔 (指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長)
田口 豊 (愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長)

順不同

欠席者：委員 中尾 徹 (愛知県美容業生活衛生同業組合 理事)
令和3年6月21日(月)にアリアーレビューティール専門学校にて
意見等を聴取する。

オブザーバー

森山郁子 (アリアーレビューティール専門学校 事務主任)
山口 孝 (アリアーレビューティール専門学校 広報主任)
高橋秀典 (アリアーレビューティール専門学校 美容科チーフ)

委員会次第 (概要)

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 令和2年度 産学連携就職情報交換事業について報告
- (4) 名古屋市在宅高齢者訪問理美容サービス事業について報告
- (5) 令和3年4月昼間課程入学生アンケートについて
- (6) 令和2年度自己評価の報告
- (7) 令和2年度学校関係者評価委員による評価まとめ
- (8) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。
(詳細は後記のとおり)

- (9) 閉会

終わりに、校長から令和3年度は第2回目を令和3年11月～12月に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○川野公稔 委員

財務の面からお話ししますが、令和2年度決算は数字内容として改善してきているが、コロナで支出が減っているのか、節約で減っているのか、楽観視はできないと思います。ただ、貯金するのが目的ではダメで、優先順位を付けて先を見越した点も考えないといけない。気になるのが消費税で通信生は課税され、その通信生が増えている。税負担が増えています。握っておくより使った方がいい。自己評価において特に問題があるようには見えないが、もっと生徒自身を見せる、卒業生を使ってもよいと思います。

(学校側)：ゆびすい様とは、現在進行形の人物評価制度でもお世話になっており、学生募集を中心とした中期的な計画を今まで以上に、より具体化したものができるようになってくると思います。学校の目標、個人的な目標もより見える化されてくると思います。卒業生に関しては勤務の都合もあり、毎回は難しいですが、若い卒業生を中心に卒業後が見えるようにするのも大切だと思います。

○中川信子 委員

教育・募集面ですが私たちの学校ではイメージが「楽しい」、「楽しい」がキーワードになっています。「楽しい」なくして募集はないと思っています。いかに楽しいかにかかっている。リクルートのアンケートでは進学先決定の第1位の理由として男女とも「学びたいことが学べる」。第2位が男女で分かれていて、男子は就職で、女子は雰囲気でした。報告にありましたが、オープンキャンパスからの入学率が82%だったというのはすごい事だと思います。弊社でも昨年度はよかったなと思いましたが、それでも54%でした。

(学校側)：理美容学校はどこの学校も同じ教科書を使っており、教育内容に大きな違いが出にくい面はあるかと思っています。アリアールでは毎年入学者アンケートを入学式直後に行っており、その項目の1つに「入学を決意させた最も魅力的なこと(他校

とのちがい)はどのようなものか?」というのがあり、「授業内容・カリキュラム」の欄への記入が昨年、一昨年は約16%でしたが、今年は7.4%。第1位が学費・奨学金で22.2%。今まででも、授業内容が低いと思いますが、さらに半分以下になっています。みなさんもお存じのように一番授業料が高い学校が一番学生を確保しています。実務者を育てているのに、国家試験や技術大会が気になるようではなかなか伸びない。中村区にある理美容併設校では2年連続国家試験の合格率が載っていません。悪かったからではありません。国家試験は当たり前すぎてそこで差は出ません。これを脱却しないと市場が求める学校にはなかなかないと思っています。

○藤原さやか 委員

学生募集や広報活動、教育全般のお話がありましたが、今、高校2年生の娘がおり、美容系進路の話がでることがあるのですが、雰囲気だけで学校を見て感じている。雰囲気だけで思っちゃっている。いい勉強をしてくれるだろうと思わせてくれるのだと思います。

(学校側)：イメージ戦略のようなものも昨年は掲げて(テーマパークのような)広報活動をしてきました。他校との違いを整理して周知をしないといけないと思いますし、教育内容や授業内容をわかりやすく示す必要があります。また根強い「中日美容」意識もありますね。

○石黒知樹 委員

募集活動の話から、私の娘の高校では中日美容を勧めている。中日は楽しいし、OBも多い。とてもいい先生がいるそうです。学費の面もカリキュラムが充実すると安く感じる。

(学校側)：やはり特色や魅力のある学校で選んでもらう。「中日」でいい、「中部」でいいという意識を変えるほどの魅力や内容にしないと少子化で今まで以上に苦戦すると思っています。新しい学びや教育方針を秋ごろには公表しないと、受験生や保護者は専門学校で何を学びたいか、早めに志望校選びを特に美容系はして来ます。授業も生徒を引き付ける内容を増やすよう努力をしていますが、しかし実際に魅力ある内容にするのは簡単ではなく、そこで企業連携を重視し、より実践的で実のある授業にと思って行っています。教育内容を変えるとき、そもそも、今ある学びと新しい学びの違いがわかるように違いを整理して周知しないといけないと思っています。

○田口 豊 委員

学生募集で「楽しさ」というキーワードが出てきていますが、楽しさって何だろうと考えてしまいます。学校の努力プラスアルファ楽しさって何だろう。就職のところですが、学校でも求人内容に関してはチェックをしてほしいと思います。

(学校側)：楽しい学校=努力をしない学校という意味ではないと思います。楽しい学校であろうとなかろうと、努力するのは同じだと思います。やりたいことが見つからないとか、無理して目標を持つこともないと思いますが、やりたいことが見つかった時のために、準備だけはしておかなければならないと考えます。産学連携就職情報交換事業に関してですが、学校には理容求人たくさんありますが、愛知県理容組合推薦の求人はたった2件で美容組合も26件。日本理容美容教育センター、地区学校協議会、都道府県組合の3者が一体となつての取り組みですが、事業成果はほとんど無いに等しい。学校も離職率の低下を目標に安心・安全な求人管理に努めますが、業界団体も考えてほしいと思います。

○土橋翔太 委員

コロナ禍での生徒管理、授業方法ですがオンライン上でのやり取りでは、勉強のどこで悩んでいるかが把握しにくく、単に授業内容の改善と言っても、今いる生徒を巻き込みながら試行錯誤をしている。中学生向けのオープンキャンパスでは、生徒のポイントは「楽しさ」。どういう生徒が参加しているかを見極めながら、雰囲気意識して実施している。

(学校側)：昨年の緊急事態でも弊校は他校よりも比較的早く通常授業に復帰することができました。ただ通いに不安のある学生もあり、レポートにての代用等本人にとってマイナスにならないように対応しております。オープンキャンパスも昨年度まではオンラインも併用して行っておりましたが、来校を希望される方が多く、現在は来校型のみで実施しております。皆さまからご意見をいただいたように、在校生や卒業生の活躍がもっと見えるようにしていくことが大事かと思いました。

以上

記録：山口

令和3年度 学校関係者評価委員会 議事録 (2回目)

実施日：令和3年11月9日(火) 10:00~12:00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティースクール 2階 C 教室

出席者：委員 池山英一 (アリアーレビューティースクール 校長)

土橋翔太 (第一学院高等学校 教諭)

石黒知樹 (全国理容生活衛生同業組合 中央講師・保護者)

藤原さやか (平成28年度卒業生)

中川信子 (名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 校長)

川野公稔 (指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長)

田口 豊 (愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長)

中尾 徹 (愛知県美容業生活衛生同業組合 理事)

順不同

オブザーバー

森山郁子 (アリアーレビューティースクール 事務主任)

山口 孝 (アリアーレビューティースクール 広報主任)

高橋秀典 (アリアーレビューティースクール 美容科チーフ)

委員会次第 (概要)

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 学園新聞 NO.14 について報告
- (4) 社会人受入れの推進に関する制度の概要報告
- (5) 国家戦略特別区域外国人美容師育成事業について
- (6) 文科省 令和3年度 専修学校関係予算について
- (7) 令和3年度 名古屋市在宅高齢者訪問理美容サービス事業講習会について
- (8) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。

(詳細は後記のとおり)

- (9) 閉会

終わりに、校長から令和4年度も引き続き会議を開催予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○中尾 徹 委員

外国人美容師育成事業のお話が出ましたが、先般の美容組合の会議で、「組合で特区を取ろう」「監督機関になろう」という機運になり、議員さんのアドバイスもいただきながら、愛知県で特区を取る方向です。外国人だけでなく、お話しにも出ましたが訪問福祉についても動いており、「福祉理美容師」という愛知県の資格認定制度に向けて取り組んでおります。「理容師」「美容師」「福祉理美容師」という感じでしょうか。福祉に関しては、理容師・美容師で分けて考える予定はなく、同じ緑区の理容組合 堀田支部長にも声をかけております。美容だけでなく、理容も一緒に動いた方がいいと思いますし、行政側も同じ認識で、いずれ理美容師が一つになるといいと思っていますが、まずは、一緒にやれることは一緒にやりたいと思います。実際のサービス内容は訪問とはいえ、しっかりした内容と金額をとることが大事だと考えますし、県補助金も組合サロン限定になっています。現在、愛知県美組は東京に次いで 2 番目に大きな組織であり、業権に関し、もっと関心を持ちたいと考えています。私事ですが、フォトスタジオを開設し、成人式等の着付けの後、利用していただこうと思っています。また 7 月には青年部がチャリティーカットを行い、好評を得ました。組合総力を挙げて、様々な取り組みを行っています。組合の学校委員会にも属しており、AO 入試の出願が従来から 1 か月後に変更になったため、来春の把握はまだわかりませんが、今年の 4 月の 3 年課程の美容科は 22 名が入学されました。

(学校側)：最新の学園新聞でもお知らせしているのですが、理容科・美容科・トータル科それぞれにおいての国内就労の具体例をあげています。外国人美容師は日本語能力試験 N2 以上等ハードルがまだ高く、アリアール在校生でも特定技能等の形で国内就労を遂げている子もいます。愛知県が特区申請していることは、就職活動を進める上でとてもありがたい話です。また美容組合(名古屋美容協議会及び愛知県理容美容協会)さまが主導される訪問福祉活動も、本来なら講習会場を美容あいち会館で行われるところ弊校を選んでいただき、また学生にも参加を呼び掛けてもらい、超高齢社会に求められる存在を目指す上で、とても感謝しております。

○川野公稔 委員

様々な取り組みの中で、収益が改善しつつあるのは良い事だと思いますが、良かっただけではダメで、今後の課題は余ったお金をどう使うかが問題。設備投資をどうするか、評価制度をどうするか、果実の分配を考えないといけない。

(学校側)：公開授業に関しては、収益事業の1つとして行っており、在校生・卒業生だけでなく市中の皆さまにもカルチャースクール感覚でお使いいただければと思っており、実際に複数名の方が通われています。大学等における社会人受入れの推進に関する制度には、公開授業、社会人選抜、科目履修生等ありますが、今後も教育・研究の成果を直接社会に開放し、地域住民等に学習機会を提供したいと思います。職員室の教職員だけでは、教育する余裕がなく、外部講師も同時に募集し、受講生数に応じて講師料を増減する制度を設けています。果実の分配をどうするかについては、教職員までは聞いておりません。

○中川信子 委員

公開授業がうまく回っているお話がありましたが、15年ほど前に当校でも付帯授業としてワンコインで開催しましたが、うまくいかず苦い経験がありました。同じ建物内(名古屋フラワー&ビューティ専門学校内)で、系列大学が17時30分から大学院授業をしています。交通の便を考えて、大学ではなく当校で行っています。専門学校とは切り分けて、大学職員が来て平日の夜に開講しています。外国人のお話が出ていますが、ベトナムでは日本式の美容がとても人気と聞いています。国籍はどちらの方が多いのですか？日本人でもそうですが、将来を考える上で早期(中学時ぐらい)の職業体験が一番大事だと思っています。学生管理のお話しもありましたが、学籍番号を入れると名前や出欠席、成績がすぐわかるシステムを入れています。

(学校側)：公開授業に関しては、教室の有効活用も考えての取り組みであり、弊校は月曜日も昼間生はお休みなので、月曜日を中心に開催しています。外国人の学びに関しては、理容・美容の学校ですので、どこのクラスに属してもそれを活かした形になります。在籍者の国籍ではベトナム・ネパールが多いです。昨日あたりの報道で、コロナ禍での外国人留学生の入国がやっと可能になりますが、今年1月から新規入国を全面的に禁止し、上半期はコロナ前と比較すると約9割の減少。今後は日本で認められたワクチンの接種や入国時検査などの徹底で対応していくことと思います。

○藤原さやか 委員

公開講座は高い、場所がわからないというイメージがある。私が在籍しているときに比べ、ずいぶん変わりましたね。

(学校側)：社会人の学習実施に関わる現状として、実際に学習をしている方は3割程度。実施を検討しなかった理由としては、時間的・金銭的余裕のなさに加え、学習したい内容やそれに適したプログラムが見つけれられていない状況です。学習の実施目的も「現在の業務に役立てるため」の割合が最も大きく、職場や業界団体等からの指示・推奨が大きいです。今後もリカレント教育への対応・方針、社会人等の学生の受け入れについて、改善をし続けたいと思います。

○石黒知樹 委員

公開授業も多彩なメニューを組まれています。どの講座が人気ですか？愛知県ニューヘアも毎年発表され、また全理連中央講師会も「全理連ニューヘア」として、年1回の発表を行っていましたが、今年より名称を「World hair in Japan」に変更し春夏と秋冬の年2回発表になりました。勉強する機会が多いのはとてもよいと思います。

(学校側)：国家試験を中心とした授業では、プラスαの学びは限界であり、中学・高校のように部活動として行う必要がある。技術大会もまったく結果が出ない。体育の授業の中で甲子園を目指すようなもので、きちんと授業後に部費でやる感覚です。石黒先生は、愛知県講師かつ全理連中央講師でもいらっしゃるの、現在の選手育成コースや愛知県や全理連のニューヘアを勉強できる新たな講座を開講してほしいと思います。

○田口 豊 委員

(特にご意見等はなく。)

(学校側)：ワクチン接種の際は、理容組合さまには大変お世話になり、教職員の多数が一般よりも早く接種でき、大変感謝しております。訪問福祉についても美容組合同様、骨を折っていただいており、新聞記事でも田口先生始め、理容組合さまの活動を拝見しました。福祉理容だけでなく、組合さまの長年の取り組みを学校からも発信し、アリアーレだからできる学びとして生かしたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

○土橋翔太 委員

弊社におけるコロナ禍での授業はオンラインが多かったですが、授業選択の仕方として自分がやりたいことに向けて自由にコース分けをしています。(いかに実践に近づけるか?実践のトビラがひらくか。)そして、学生管理の仕方は、10名程度の教員で形だけ担任としておいているが、(電話対応のため等)クラス制ではなく、(クラスという概念がない。)自分でカリキュラムを作って、自分でその教室に行っています。(自主性を持たせるために自分で考えさせる。大学みたい。)年3回、生徒・保護者に、こういうことをしてほしいというアンケートを取っている。最近、女子生徒の入学が多い。現在第一学院には、中等部というのがある(中学生)、週2回～月1回、中学生向けの授業を実施しています。(自校生徒が休みの時)そのまま、入学してくれる子もいます。上級学校に関しては新潟の大学と連携しています。生き抜く力は国数だけではないと考えています。

(学校側)：通信制高校の生徒が急増している中で、必須科目ではない特別授業としてヘアメイクやイラスト、ギター、声優等増加の理由を探ると、多様な授業や柔軟な学習制度、新型コロナウイルスの影響が見えてきています。「ここなら好きなことがみつけれそう。」「将来やりたいことが決まっていない子が目標を持てた。」というスタンスは専門学校には当然必要と考えています。以前は働きながら高卒資格を得るための場であったり、何かマイナスの事情があって通っている等の偏見もあったと思いますが、自分を生かす多彩な授業は私たちにとっても勉強になります。

以上
記録：山口